

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ぐりっと経塚		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		令和8年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 9日		令和8年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護職員が常駐している	○看護職員が常駐しているため医療的ケア児の受け入れが可能。 ○看護指示書に基づいて薬の投与・咳痰吸引処置などを行える。 ○医療的ケア児だけでなく利用児童が来所持検温等必ず行い、体調面への意識を強く持っている。	保護者や連携機関との情報を共有し実施できる情報を収集する。 職員研修を引き続き定期的実施する。
2	児童発達支援・放課後等サービスの混合型のため異年齢との関わりがもてる	○みんなで日々の活動を行うため、小さいお友達に対しての優しさがあつてかわいがつてくれたり、年上の児童に負けたくないなどの競争心がめばえたり、いろいろなことを見て吸収している	・関わりを多くもてるような活動を考えていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流を持つ機会が少ない	保護者を招いてのバーベキューを設けてはいるが、参加される方が限定されてしまっている。	ゆんたく会など気軽に参加できるイベントの機会を増やして、保護者同士の交流の場がもてるようにする。
2	保育園・こども園・小学校の先生との情報共有や支援の方向を共通認識が足りない。	半年に1回程度のモニタリングの機会にお互いの情報共有は行っているが、こどもの育ちを考えると、もう少し短いスパンで情報共有し関係機関で支援の方向を合わせる必要があるが、各現場の状況で時間確保が難しい。	保育園やこども園・学校等の保育参観・授業参観などに参加してもいいか働きかける。
3			